

# 新演出

# オペラ 森は生きている

原作 サムイル・マルシャーク  
(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣

わがままな女王の  
気まぐれからはじまった  
かごいっぱいのお金貨につられた  
マツユキ草探し  
むりやり冬の森へ行かされた  
〈むすめ〉が出会ったのは  
〈時間〉をつかさどる自然のまもり手  
一月から十二月まで 十二人の〈月の精〉たちだった  
「もえろ もえろ あざやかに」  
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで  
〈むすめ〉はなにをもらったか？  
女王はなにを学んだか？



1992年の初演以来、毎年上演を重ねてきた  
オペラ『森は生きている』が、2021年、こんにやく座創立50周年を  
記念して新しく生まれ変わりました！  
一度聞いただけで思わずさみたくなるような心躍るメロディや、  
自然を描写したみずみずしく、かつ力強い音楽が、  
表情ゆたかに奏でられます。人間の本質、自然の摂理を内包した  
奥深い世界を表現しているながらも、  
こどもから大人まで、世代を超えて一緒に楽しめるオペラです。